

時を超える魂の旅

時空を超えた出会いと、魂の救済の物語

登場人物

YUMIKA

年齢: 14歳

役割: 未来の竜宮城を守る乙姫様

特性: 真実しか話せない、海の生物と意識をリンクできる

外見: 白い髪、赤い唇、サンゴの冠をかぶっている

Momo Como

種族: 宇宙犬（ピンク色のマルチーズ）

特殊能力: 幸せの記憶ハブル魔法

外見: ピンク色のもこもこした毛並み、宇宙コミュニケーター的首輪

性格: 天真爛漫、散漫だが直感が鋭い

雲居慶信

年齢: 8歳で死亡（幽霊として存在）

時代: 戦国時代

外見: 白い小袖と黒い袴を着た貴族の少年、半透明の体

死因: 政治的策略による毒殺

起 祭りの日の出会い



未来の竜宮城では**888年に一度**の「時の潮祭り」が開催されていた。乙姫様YUMIKAは祭りの儀式として、海に沈んだ過去の遺物から縁のある魂を一時的に招く儀式を執り行う。すると、予想外にも戦国時代の幽霊少年・雲居慶信が現れる。

「我が家の行方を見届けるため現世に留まり続ける」

と語る慶信の冷たい壁に、YUMIKAは何か深い悲しみを感じる。同じ頃、宇宙犬のMomo Comoは宇宙船の故障で地球に不時着し、海に落下。潮の流れに乗って竜宮城へと辿り着いた彼女が目にしたのは、不思議な祭りの光景だった。

承 真実の言葉と混乱



YUMIKAは真実しか語れない性質から、慶信に残酷な事実を告げる—**雲居家は100年前に断絶し、彼の執念は虚しいものだ**と。絶望した慶信は激しい怒りで器物に憑依する能力を暴走させ、竜宮城の古代の結界装置を狂わせてしまう。海の生物たちは混乱し、祭りは危機に瀕する。

その混乱の中、Momo Comoは「幸せの記憶ハブル」を偶然放出。それに触れた慶信は生前の幸せな記憶を鮮明に思い出し、一瞬だけ柔らかな表情を見せる。YUMIKAはこれに着目し、Momo Comoと協力して慶信の本当の思いを探る計画を立てる。



Momo Comoの宇宙コミュニケーターが偶然、慶信の記憶と共鳴し、彼の過去を映像として映し出す。そこに映ったのは、慶信が信じていた「家臣の裏切りによる毒殺」ではなく、**実は敵対する大名が送り込んだ刺客の仕業であり、家臣たちは彼を守ろうとして命を落としていた**真実の光景だった。

これまで家臣への復讐心と家名存続の執着だけで現世に留まり続けていた慶信は激しく動揺する。YUMIKAは海の記録を操る力で竜宮城の古文書庫を探り、そこで偶然発見した慶信自身が書いた和歌集を見つける。その和歌には権力への執着よりも、**誰かに心から理解してほしいという切実な願い**が込められていた。

この発見に混乱した慶信の感情が高まり、彼の幽霊としての力が暴走。三人は突如、慶信の記憶世界に引き込まれてしまう。



慶信の記憶世界—戦国時代の雲居城の庭園。そこでは慶信が8歳の誕生日に一人寂しく和歌を詠んでいた。YUMIKAとMomo Comoは、彼が家の後継者として期待される中で、誰にも本当の自分を見せることができなかった孤独を目の当たりにする。

Momo Comoの「幸せの記憶バブル」が庭園中に広がり、YUMIKAは海の生命全てと繋がる力で、慶信の魂に語りかける。

「あなたの言葉は888年の時を超えて、私たちの心に届いているよ」

初めて自分の存在そのものを認められた慶信の瞳から、透明な涙が流れ落ちる。

「僕は...ただ誰かに理解されたかった。政略の道具でなく、一人の人間として見てほしかったんだ」

竜宮城の祭りの波動とMomo Comoの宇宙エネルギーが融合し、慶信の記憶世界を美しい光で満たしていく。

「君たちは僕の本当の願いを叶えてくれた」

慶信は**初めての満ち足りた笑顔で光に変わり、成仏していく**。その光は記憶世界から現実へと戻った時、竜宮城の祭りを前例のない美しさで彩り、海の生物たちは喜びの舞を踊るのだった。